

平成27年12月定例教育委員会議案

中津市教育委員会

平成27年12月定例教育委員会提出案件

(平成27年12月27日提出)

(議案事項)

議第58号	平成27年 中津市成人式について	P 1
議第59号	中津市指定文化財の指定の諮問について	P 5
議第60号	教育委員長及び職務代理の選任について	P 23

(報告事項)

報 告	平成27年第4回定例市議会代表質問及び一般質問について	P 27
-----	-----------------------------	------

平成27年 中津市成人式について

上記について、別紙のとおり提案いたします。

平成27年12月27日提出

中津市教育委員会

教育委員長 村瀬 裕美

平成28年 中津市成人式アトラクション企画（決定版）

中津市成人式実行委員会・専門部

○テーマ

中津で笑顔の花を見た！

○テーマ設定の理由

今日まで私たちは家族に支えられ、恩師に見守られて仲間とともに少しずつ成長してきた。そして今日、中津で自分を育ててくれた人たちに祝福され、満開の花が広がるようにみんなが最高の笑顔で成人式を迎える。この人生の節目を経て、思い起こされた中津で過ごした日々、そして支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを胸に私たちは再び自分の道を進んでいく。今日の最高の笑顔から生まれた種をそれぞれの地にまいて、笑顔の花を広げていこう。笑顔の花畑をつくっていこう。

・・・という気持ちを持ちたいから。

○成人式内容

1, オープニング（中津少年少女合唱団…にじいろ♪（絢香）・童謡メドレーなど2曲）15分

2, 式典（別紙）20分（設置片づけを含む：正味15分）

3, アトラクション（新成人参加型アトラクション）

- ・ 『実行委員あいさつ』 5分
 - * テーマおよびアトラクションの説明。
- ・ 『手紙の朗読』 10分
 - * 親、友人、地域の方々など、今まで支えてくれた方々への感謝の思い、将来への展望などについての内容で手紙を書き、朗読発表する。
 - * 20歳までの写真を集めた写真集をスライドショーでBGMとともに映し出す。
- ・ 『ペンライトアート』 4分
 - * 新成人の席に、事前にカラーのペンライトを配布し、ステージ上の新成人実行委員の呼びかけに応じて、ペンライトを動かして、会場を笑顔の花満開の花畑にする。
- ・ 『合唱』 ……（起立の状態）5分
 - * 歌詞及び曲入りのDVDを流し、成人式出席者で全員で合唱する。
 - * 新成人一人ひとりを花にたとえて、SMAPの「世界に一つだけの花」を合唱する。
 - * 会場の参加者がステージ上の中津少年少女合唱団の合唱に合わせて合唱する。（・会場席の新成人に合唱を促す・スクリーンに映し出される歌詞を見て歌う）
- ・ 『ビデオレター』 10分程度
 - * 恩師や中津に縁のある市民から「新成人へのお祝いのメッセージ」をもらい上映。（出演者1人10秒程度、BGM：ピアノ、オルゴール調）
- ・ 『新成人オンステージ』 20分
 - * 新成人が舞台上に上がり、成人式の思い出をつくる。（ブレイクダンス等が入る）
 - * 参加募集については、案内葉書、ホームページ、FMラジオ等で広報を行う。
- ・ 『一本締め』 …（起立の状態）1分
 - * 実行委員が先導し、成人式出席者全員で一本締めを行って笑顔の花を咲かせ合う。
- ・ 『ユネスコ世界寺子屋運動』
 - * 新成人には当日1枚以上の書き損じハガキをもってきてもらう。
 - * 案内葉書、ホームページ、FM等で取り組みを知らせる。
 - * アトラクションの中で収集枚数を報告。→実行委員会が大分県教育委員会に届ける。
- ・ 『記念品』
 - * ハンドタオル（35cm×35cm）「中津で笑顔の花を見た！」（名入れ）
 - * 箸置き・爪楊枝入れ袋（成人式を祝う市民の有志から）

○その他（事務局）

***ボランティアの募集**

成人式を地域全体で創造していくという観点から、新成人以外の人達にボランティアとして参加してもらい、新成人を地域あげて祝うという機運を高める。

○要約筆記（壁に投影） ○手話通訳 ○障がい者の支援（聴覚障がい者への手話対応、介助）

○託児支援 ○撮影およびPC操作（会場モニター撮影） ○プラカード呼びかけ

○アンケート調査 ○書き損じハガキの数を数える ○会場清掃など

平成28年中津市成人式について【実施要項】

社会教育課

1. 日時 平成28年1月10日(日) 12時から受付 13時開式
2. 会場 中津文化会館
3. 式次第
- 【式典の部】
- ・開式の言葉 教育委員長
 - ・国歌斉唱
 - ・主催者あいさつ 中津市長
 - ・来賓祝辞 市議会議長
(その他祝辞は文書にして配布)
 - ・来賓紹介
 - ・祝電披露
 - ・新成人の言葉 男女各1名(計2名)
- 【アトラクションの部】 成人式実行委員会企画
- ・閉式の言葉 教育長
4. 来賓および主催者

	職名	備考
来賓	衆議院議員	
	県議会議員	
	市議会議長	来賓祝辞
	市議会副議長	
	市議会文教経済委員長	
	市議会文教経済副委員長	
	市議会文教経済委員	
主催者	中津市長	主催者あいさつ
	教育委員長	開式の言葉
	教育委員	
	社会教育委員長	
	社会教育副委員長	
	社会教育委員	成人式実行委員
	中津市教育長	
	教育次長	
新成人代表	新成人者代表・男	
	新成人者代表・女	

中津市指定文化財の指定の諮問について

上記について、別紙のとおり提案いたします。

平成27年12月27日提出

中津市教育委員会

教育委員長 村瀬 裕美

「石造文殊菩薩坐像（禅海和尚の墓）」の中津市指定について

中津市指定文化財について、中津市文化財保護条例第4条第3項の規定により、中津市文化財調査委員へ諮問します。

記

1. 名称及び指定区分

石造文殊菩薩坐像（禅海和尚の墓）1 軀 有形文化財（美術工芸品）
附 伝禅海和尚遺品 8 点

2. 所在の場所

中津市本耶馬溪町跡田字松尾 1510-5

3. 所有者の氏名又は名称及び住所

中津市 中津市豊田町 14 番地 3

4. 説明

青の洞門の開鑿で知られる禅海和尚が、自らの生前墓として造立したものの。禅海堂内に納められ、墓石となる台座に文殊菩薩坐像を安置する。禅海堂には禅海が使用したと伝えられる鑿・鎚なども伝来する。

以上

1. 名 称 石造文殊菩薩坐像（禪海和尚の墓）附伝禪海和尚遺品
2. 員 数 1 軀 附 8 点
3. 所在の場所 大分県中津市本耶馬溪町跡田字松尾 1510-5
4. 所有者の名称 中津市
5. 所有者の住所 大分県中津市豊田町 14 番地 3
6. 製作年代 宝暦 3 年（1753）
7. 法量 全高 181.5 cm （詳細別紙調書）

8. 由 緒 沿 革

羅漢寺登り口にある禪海堂は、青の洞門の開鑿者である禪海和尚の塔所である。堂の中央奥に当像が安置されている。当像は禪海和尚の生前墓として長州府中の石工・岸野平右衛門に製作させたもので、年月日は刻まれていない。「禪海書簡」によれば、禪海和尚は享保 9 年（1724）より洞門の掘削を始め、宝暦 3 年（1753）、30 年の歳月をかけて完成させている。完成を喜んだ跡田村の人々と当時羅漢寺の住職であった良珍が、禪海のために境内に墓所を与えたという。この史料から、当像の造立は宝暦 3 年であることが推察される。禪海和尚の墓所は智剛寺内に設けられたが、自身は湿気が多いという理由から、山上の別の場所に墓を設けた。

大正 14 年、智剛寺は禪海和尚の塔所として墓前に堂を建立し、禪海堂と称して参詣所とした。昭和 35 年頃、羅漢寺観光の名所とするため現在地に移転された。智剛寺の墓跡には山上に建てられていた供養墓が降ろされ、現在も祀られている。供養墓には禪海の没年である安永 3 年 8 月 24 日の銘が残る。

文殊菩薩像を彫刻した石工岸野平右衛門は、禪海が競秀峰からの滑落者供養のために安置した石造地蔵菩薩坐像（現在耶馬溪風物館に保管：中津市指定有形文化財）と同じ作者である。石材は共に花崗岩で、像容は非常に似ており、特に裳先の折り返しなどの表現は酷似する。

9. 添 付 資 料

資料 1 所在地位置図

資料 2 写真

資料 3 詳細調書

資料 4 禅海書簡





文殊菩薩像 全景



文殊菩薩像



文殊菩薩像 蓮台及び竿



錠 1



錠 2



鎚3



石のみ



金剛杖



茶釜



持鉢



持鈴

○石造文殊菩薩坐像（禪海和尚の墓）

【法量（全高）】 181.5 cm

【法量（文殊菩薩坐像）】

像高 69.0 cm 髮際高 57.0 cm 面長 14.5 cm 頭頂 - 顎 28.5 cm

面幅 13.5 cm 耳張 15.0 cm 面奥 17.0 cm 胸厚 20.5 cm 臂張 44.5 cm

腹厚 28.5 cm 膝張 54.0 cm 膝奥 38.5 cm 膝高 13.5 cm 裳裾奥 48.5 cm

【石材】 花崗岩（中台より上）・凝灰岩（台座）

【構造】

基壇は、亀腹状の基礎に八角の中台（四面に碗状の窪みをつける）を据える。中台上部に竿石を載せるため亀腹状の台を造り出す。竿石は円筒形で別記の銘文を陰刻する。竿石上に魚鱗葺きの蓮華座を載せ、文殊菩薩坐像を安置する。

【文殊菩薩像の像容】

右手は屈臂して掌を上に向け胸前で経巻を執る。左手は屈臂して腹前で如意を執る。結跏趺坐。頭部は髻を結び宝冠をつける。額に白毫を嵌めていたか。服装は天衣と裳を着ける。腕釧を着け、宝冠を戴く。

【銘文】

（中央）

真如禪海墓

（向かって右、中央より）鎖戸道開主／願以此功德普及於一切／我等與衆生皆
共成佛道／南無阿彌陀佛

（向かって左、中央より）回國之行者／本國武州江戸浅草住／先越後弼高田福
原氏／年／月 日／石工長弼府中住岸野平右門



真如禪海墓

南無阿彌陀佛

我等與衆生皆共成佛道

願以此功德普及於一切

鎖戸道開主

1m

回國之行者

本國武州江戸淺草住

先越後劔高田福原氏

年

月 日

石工長芴府中住岸野平右門

○伝禅海和尚遺品

【名称・法量】

①鎚 1

鎚部のみ残存 長さ 8.5 cm、幅 7.5 cm

②鎚 2 (玄能)

全長 11.5 cm、柄の長さ 6 cm (一部欠損)、太さ 2.5 cm、鎚部の長さ 22 cm、幅 5.5 cm、

③石のみ

全長 15.5 cm、太さ 2.5 cm

④鎚 3

全長 24 cm、柄の長さ 16.5 cm、太さ 2 cm、鎚部の長さ 8.5 cm、幅 7.5 cm

⑤金剛杖

長さ 63 cm、太さ 2.5 cm

⑥茶釜

幅 38 cm (羽根まで)、胴幅 29 cm、高さ 25 cm

⑦持鉢

総高 18 cm、幅 25 cm、蓋の高さ 8 cm

⑧持鈴

総高 12.5 cm、最大幅 5.6 cm、鈴部 3.2 cm、東部・鈷部 7.3 cm

柄は新規か？

【説明】

禅海堂が所有する禅海の遺品である。いずれも禅海が青の洞門を開鑿した際に用いたものと伝わる。本来は禅海が居住し、またその墓所とした智剛寺に伝来したものである。

全 8 点で、うち石工道具が 4 点、日用具・仏具が 4 点である。鎚 1・3 は「セットウ」(石頭) と呼ばれるタイプであり、石のみや矢を打ちこむために用いられるものである。鎚 2 は「ゲンノウ」(玄能) である。

石のみは、円筒型で先端を八角形状に尖らせる。頭が扁平で身より飛び出さず、かつらを付けないことから、「ソコザラエ」(底さらえ) と呼ばれる矢穴を掘る際に用いられる石のみに形状は近い。

金剛杖は下部以上を半分ほど欠損しており、頭には五輪塔を作り出す。

茶釜は松竹梅の文様で、大きな羽を有す。蓋は木蓋とし、環付きは 2 カ所である。

持鉢は共蓋とする。現在曹洞宗で用いられる応量器に比べ大型である。托鉢にもちいたという。木地に塗るが塗料までは判別できない。

持鈴は金銅製である。金剛鈴型で、これも鈷部は五鈷で、把部および鈷部の文様は鋳込まず、毛書きし鍍金している。鈴部は頭部に連弁の模様を鋳込む。総じて把部の作りが悪く、鈴部の鋳込みがよい。鈴部の形態をみても 17 世紀を上限とし、19 世紀を下限とすることができよう。把部と鈴部間の溶接部も粗雑であることから本来別である可能性が高い。

今回、遺品の調査を通じて禅海所持の遺品であると断定することはできなかった。しかし、石工道具に関してはいずれも洞門開鑿などに用いることのできる道具と判断されたほか、持鉢・持鈴も曹洞宗の僧侶が用いる代表的な用具であり、いずれも現在使用されているものとは形状が異なることも判明した。これらが智剛寺に伝来していた点からも禅海所縁の品である可能性があるといえよう。

○参考文献

『本耶馬溪町史』本耶馬溪町 1987

『禅海と「青の洞門」のすべて』加藤通夫著 1986

〔羅漢寺第二十四代住職
中島得聞の禪海についての上申書〕

別紙字通之字保九午豐後用之土地之
未之僧屋之修繕之住所之當門前之
某信家之修繕并村大字地田向有間一名
段戸二百段剛余之在路之通行者之在屋之
シ之屋之前之築造之之茶室之初化之十六之
茶之修之之心一毫之築造之着手徒重天即喜
修之修之三年迄和三十一年一日和之
其成功之果之修之蹟蹟字上之也修之
道師之請七日向大法念之現場之施行之
トト尚又生明中百所進神作伴固之整
道之隆之修之之若子系附之也且之自今
其修之之修之之境之之而之次代祠余之
之田石之十有餘年所之之其石室之
引千四月持之權大僧都之官位之榮之賜之
之得之之而之次永三甲午六月廿四日尋入
大之之寂之以上禪海僧都未之一斑也
及上申之也

下毛郡宇津村羅漢寺住職
中島得聞 謹

明和十二年七月
大合衆法會記

〔著者注一宝歴十三年は明和四年の誤り
十一世良珍も十世良珍の誤り〕

〔禪海書簡一〕

享保九年辰二月、豊後油府院龍雲山
興禪院一切經建立有之ニ付拙者佛語仕リ
康現住御精之義有之ニ付延岡領御役所へ
御願申上ル。豊興禪院弟子ニ相成ル上ニ右
一切經代之内寄進仕ル様被仰付ルニ付興
禪院弟子ニ相成真如庵禪海と法名相改御
血脉被下右寄附女々志相仕無許申、其後鏡
戸道造致シ、モルニ付興禪院、羅漢寺
良珍和尚様へ御書簡被遣、則受取羅漢
寺十世良珍和尚様へ差上ル端御願申上ル
右之趣ニ付宝曆十三癸未年興禪院靈
照和尚之為ニ日牌料銀子右之趣差上
一切經代物之内ニ被加下ル様ニ御願申上
置

真如庵 禪了海

〔著者注一らは「から」「より」の意〕

〔禪海書簡二〕

下毛郡鎮戸道造志成就仕ルニ付跡田村
之御且那小石工門殿甚左五門殿御六屋様
傳六殿羅漢寺十世良珍大和尚様右何辰
様へ御書簡之拙僧堂所内境内ニ被仰付
難有安心仕ル右ニ付御寺奉對拙僧方々
一札書附宝曆酉年差上置申、元石墓所
智剛寺之前ニ山存ニ拵立ル所常濕氣有之
水出ル又、右之場所より了了計り上一般
地蔵、申可ニ墓所所願申上ル得、早速御
許容被下墓所拵置申、向年恐手、益
中ニ者、御寺僧様石之場ニ拵立、越級成
御結縁、御同向無御解忌御勤被下置ル
様之重々御願申上ル

真如庵 禪了海

〔禪海書簡三〕

因縁心
豊後油府院龍雲山興禪院一切經建立有之ニ付拙者佛語仕リ
康現住御精之義有之ニ付延岡領御役所へ
御願申上ル。豊興禪院弟子ニ相成ル上ニ右
一切經代之内寄進仕ル様被仰付ルニ付興
禪院弟子ニ相成真如庵禪海と法名相改御
血脉被下右寄附女々志相仕無許申、其後鏡
戸道造致シ、モルニ付興禪院、羅漢寺
良珍和尚様へ御書簡被遣、則受取羅漢
寺十世良珍和尚様へ差上ル端御願申上ル
右之趣ニ付宝曆十三癸未年興禪院靈
照和尚之為ニ日牌料銀子右之趣差上
一切經代物之内ニ被加下ル様ニ御願申上
置

武島江戸漢草住位回國行者
先祖越後國高田住 温急氏

法名
權大僧都真如庵禪了海

羅漢寺林 道印
水々奉哥拜



〔羅漢寺第二十四代住職・中島得聞の禅海についての上申書〕

別紙写ノ通り、享保九年豊後国ヨリ当地ニ来リ。僧籍ヲ拙寺ニ依頼シ、住所ヲ当門前ナル某信家ニ定メ、東城井村大字樋田、同青ノ間、一名鎖戸二百數間余ノ危路アリ。通行甚タ危険ナリシヲ憂ヒ、前ニ鑿道ノ志ヲ發起シ勸化ヲ十方ニ募リ、傍ヲ口心一意鑿道ニ着手従事ス。即享保九年ヨリ宝曆三年迄殆ト三十ケ年一日ノ如クニシテ、其成功ヲ果セリ。依テ羅漢寺十一世良珍禅師ヲ導師ニ請シ、一七日間ノ大法会ヲ現場ニ施行セラレントゾ。尚又生前中当附近神社仏閣へ鑿道ノ餘資ヲ以テ若干ノ寄附ヲ施シ、且ツ自分ノ墓碑ヲ拙寺ノ境内ニ乞ヒ、而テ永代祠金トシテ田畑荳丁有余ヲ寄附セラル。其后宝曆十二年四月、特ニ權大僧都ノ官位ノ栄賜フ事ヲ得ルナリ。而シテ安永三甲午八月廿四日寿八十八才ニテ寂ス。以上禅海僧都来歴ノ一斑、茲ニ及上申候也。

下毛郡上津村羅漢寺住職

中島得聞筆（印）

明治四十二年七月

大分報徳会宛

〔禅海書簡（一）〕

享保九辰二月ヨリ豊後油布院龍雲山興禅院一切経建立有之二付、拙者佛詣仕候处、現住御頼之義有之二付、延岡領御役所へ御願申上候处、興禅院弟子ニ相成ル上ニテ右一切経代之内寄進仕候様被仰付候ニ付、則興禅院弟子ニ相成、真如庵禅海と法名相改、御血脈被下、右寄附少々志相仕舞申候。其後鎖戸道造致かゝり候ニ付、興禅院ヨリ羅漢寺良珍和尚様へ御書簡被遣、則受取、羅漢寺十世良珍和尚様へ差上、万端御願申上ヨリ、右之趣ニ付、宝曆十三癸未年、興禅院靈照大和尚之為ニ日牌料銀子右之通差上、一切経代物之内ニ被加下候様ニ御願申上置候。

真如庵禅了海

〔禅海書簡（二）〕

下毛郡鎖戸道造志成就仕候ニ付、跡田村之御旦那小左衛門殿・甚左衛門殿、御庄屋様伝六殿、羅漢寺十世良珍大和尚様、右何茂様ヨリ御隣愍ニテ拙僧墓所御

境内ニ被仰付、難有安心仕候。右ニ付、御寺ニ奉対拙僧方ヨリ一札書附宝曆酉年差上置申候。尤右墓所智剛寺ノ前ニテ山岸ニ拵立候所、常濕氣有之水出候間、又々右之場所より老丁計り上、一体地藏と申所ニ墓所御願申上候得ハ、早速御許容被下墓所拵置申候間、乍恐年々盆中二者御在僧様右之場ニ御立越被成御結縁御回向無懈怠御勤被下置候様ニ重々御願申上候。

真如庵禪了海

〔禪海書簡(三)〕

因縁心

豊前国下毛郡鎖戸道永々往来通路よく相作直仕置候。随而世界之助力衆生供万靈任因縁に、先祖ニ親兄弟親類万靈為菩提永々寄附仕、羅漢寺御佛前へ日牌、数々供米、祠堂料、田畑老町余、銀貳貫目相對以差上申候。但、右田之儀、御寺下夕田地ニ而、永々毎年無滞御供米差上寺納仕候。右委細改書文書附長面仕品々志願之様差上、寺納仕置奉尊拝候。拙僧儀、無縁沙門一念之拝末々退転無之候様、御隣愍之御儀以御回向奉願上候。以上。

宝曆五乙亥年五月 日

武州江戸浅草住回國行者

先祖越後国高田住福原氏

法名

権大僧都真如庵禪了海

道印(印)

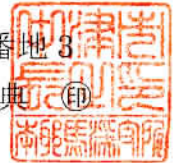
羅漢寺様

永々奉尊拝

平成 27 年 12 月 8 日

中津市教育委員会
教育長 廣畑 功 殿

住 所 中津市豊田町 14 番地 3
氏 名 中津市長 奥塚正典



指 定 同 意 書

私の所有（占有）する下記の文化財を中津市指定有形文化財に指定することに同意します。

記

- 1 名称及び員数
「石造文殊菩薩坐像（禅海和尚の墓）」1 軀
附伝禅海和尚遺品 8 点
- 2 所在地
大分県中津市本耶馬溪町跡田字松尾 1510-5

教育委員長及び職務代理の選任について

上記について、別紙のとおり提案いたします。

平成27年12月27日提出

中津市教育委員会

教育委員長 村瀬 裕美

教育委員長及び職務代理の選任について

平成27年4月1日（以下「施行日」という。）に改正法により施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「新法」といい、施行日以前の法を「旧法」という。）により教育委員長と教育長を一本化した新たな教育長を置き、教育長が、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する（新法 第13条）こととなりましたが、施行日において在任中の教育長が、その教育委員としての任期が満了するまで、旧制度の教育長として在職している間は、旧制度の教育委員会が継続することとなります。

従って、旧制度の規定がなお効力を有するとされていることから、教育委員長及び職務代理として任期満了を迎えたとしても、旧制度と同様、改めて教育委員長及び職務代理を任命する必要があります。

教育委員長は、旧法第12条第2項の規定により、「任期は、1年とする。ただし、再選されることができる。」となっており、同条第1項では、「教育委員会は、委員のうちから、委員長を選挙しなければならない。」、また、同条第4項では、「委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ教育委員会の指定する委員がその職務を行う。」となっています。

つきましては、現教育委員長及び職務代理が平成28年1月4日をもって任期満了となりますので、次期教育委員長及び職務代理の選任をお願いします。

○教育委員長

任期：平成28年1月5日から平成29年1月4日まで

○教育委員長職務代理

任期：平成28年1月5日から平成29年1月4日まで

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律：旧法(昭和31年6月30法律第162号)より抜粋

(委員長)

第12条 教育委員会は、委員（第16条第2項の規定により教育長に任命された委員を除く。）のうちから、委員長を選挙しなければならない。

2 委員長の任期は、1年とする。ただし、再選されることができる。

3 委員長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表する。

4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ教育委員会の指定する委員がその職務を行う。

○中津市教育委員会会議規則(昭和40年7月10日中教規則第2号)より抜粋

(準用)

第24条 委員長の選挙については、地方自治法（昭和22年法律第67号）第118条の規定を準用する。

○地方自治法(昭和22年4月17日法律第67号)より抜粋

第118条 法律又はこれに基づく政令により普通地方公共団体の議会において行う選挙については、公職選挙法第46条第1項及び第4項、第47条、第48条、第68条第1項並びに普通地方公共団体の議会の議員の選挙に関する第95条の規定を準用する。その投票の効力に関し異議があるときは、議会がこれを決定する。

2 議会は、議員中に異議がないときは、前項の選挙につき指名推選の方法を用いることができる。

3 指名推選の方法を用いる場合においては、被指名人を以て当選人と定めるべきかどうかを会議に諮り、議員の全員の同意があつた者を以て当選人とする。

4 一の選挙を以て二人以上を選挙する場合においては、被指名人を区分して前項の規定を適用してはならない。

5 第1項の規定による決定に不服がある者は、決定があつた日から21日以内に、都道府県にあつては総務大臣、市町村にあつては都道府県知事に審査を申し立て、その裁決に不服がある者は、裁決のあつた日から21日以内に裁判所に出訴することができる。

○公職選挙法より抜粋

第46条（投票の記載事項及び投函）

第47条（点字投票）

第48条（代理投票）

第68条（無効投票）

○地方自治法より抜粋

第95条 前条の規定による町村総会に関しては、町村の議会に関する規定を準用する。

平成27年第4回定例市議会代表質問及び一般質問について

上記について、別紙のとおり報告いたします。

平成27年12月27日提出

中津市教育委員会

教育委員長 村瀬 裕美

平成 2 7 年第 4 回定例市議会
(代表質問)

中津市教育委員会

平成27年第4回定例会 代表質問通告書

順位	議席	氏名	質問の要旨	答弁者
	会派	日本共産党		
1	6番	川内 八千代	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民が安心、安全な暮らしができるように、安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）施行による市民への影響についての認識と憲法第9条と99条に対する市長の見解 2. TPP（環太平洋経済連携協定）による市内産業、市民生活への影響についての認識とTPPに対する市長の見解 3. 市民の批判、意見に耳を傾けて事業見直しを 新歴史民俗資料館14.5億円、永添の新スポーツ公園16.5億円、永添の遺跡公園7.5億円 4. 子ども、障がい者、高齢者、低所得者、福祉の充実 <ol style="list-style-type: none"> ①子ども医療費、中学卒業まで通院も無料に、市民病院のシステム改善も併せて ②重度障害者医療は現物給付に ③保育所の充実で待機児童をなくすように、保育士の身分保障と処遇改善をはかり人材確保を ④教育は基礎学力を付けることを原則に ⑤教員の多忙化をなくし、子どもと向き合える先生に ⑥地域的分析をして、健康対策、介護対策を進め、介護予防の充実と市独自の負担の取り組みも必要、従事者の身分保障と処遇改善で人材確保を ⑦医療計画で病床削減をしないよう、県、国へ働きかけを 5. 地元産業の振興 <ol style="list-style-type: none"> ①市内の農林漁業家への支援の充実で、地元産業の振興を基本に ②住宅、店舗付住宅のリフォーム助成制度創設で地元中小業者の仕事おこしを 6. 防災のまちづくり <ol style="list-style-type: none"> ①中津市の防災計画の前提は ②平成24年7月の北部九州豪雨災害からの復旧の検証を ③情報ネットワークを全市民対象に構築、旧市内市民への対応、充実（防災ラジオの全戸配布へ） ④消防団員確保のための身分保障、メリットを 	市長 教育長
	会派	敬天親和会		
2	4番	山影 智一	<ol style="list-style-type: none"> 1. まちづくり集団づくり <ol style="list-style-type: none"> ①意欲ある職員の育成 ②支所長と機構、組織の見直し ③女性の登用と男女が支え合う社会づくり ④国、県との連携 2. 未来を創る社会資本整備 <ol style="list-style-type: none"> ①東九州新幹線の実現 ②中津日田高規格道路の開通年度の設定 ③中津港の整備と活用 3. 人を呼び込む産業の振興 <ol style="list-style-type: none"> ①企業誘致 ②中小企業、小規模事業者支援とTPP対応 ③3Dものづくり 4. 担い手を育む農林水産業の振興 <ol style="list-style-type: none"> ①担い手の育成 ②所得の向上 ③TPP対応 5. 地域が輝く観光振興 <ol style="list-style-type: none"> ①観光振興とインバウンド対策 	市長 教育長

平成27年第4回定例会 代表質問通告書

順位	議席	氏名	質問の要旨	答弁者
			6. 夢を育むスポーツ振興 ①事前キャンプ誘致戦略 ②メイプル耶馬サイクリングロードの整備とイベント開催 ③相撲場の整備、建設 ④市民プールを多目的プールに 7. 人を育み豊かに暮らす環境づくり ①学力向上対策 ②道徳、郷土教育 ③学問のすすめを副読本に ④芸術文化の振興（芸術文化複合施設の建設） 8. 安心して子育てできる環境づくり ①子育て環境（保育事業） ②放課後児童クラブの充実 ③子どもの貧困対策 9. いつまでも明るく元気に暮らせる環境づくり ①健康寿命の延伸対策 ②地域サロンの推進と老人クラブ活動の活性化 ③障がい者の就労支援の充実 10. 財政状況と平成28年度予算 ①地方財政と当市の財政状況の認識、平成28年度予算の重点項目及び基本方針	
会派 新生・市民クラブ				
3	16番	千木良 孝之	1. 中津の未来の創造について ①安心づくり ②元気づくり ③未来づくり ④連携づくり	市長 教育長
会派 前進				
4	25番	草野 修一	1. 人口問題 総合プランの人口ビジョン 2. 周辺部対策 支所のあり方 3. 産業経済 第1次産業の方向性	市長

平成27年第4回定例市議会
(一般質問)

中津市教育委員会

平成27年第4回定例会 一般質問通告書

順位	議席	氏名	質問の要旨	答弁者
1	26番	中西 伸之	1. 地域振興対策費について ①馬溪橋の改修に伴う地域振興 2. プレミアム商品券販売について ①後期分の販売状況 ②今後の取り組み	市長 教育長 関係者
2	1番	古森 三千年	1. 救急自動車について ①3カ年の出動回数 ②3カ年の平均の搬送時間 ③救急車の適正利用 2. AEDについて ①現在までの設置状況 3. グリーンカーテンについて ①平成26年、平成27年の実施箇所 ②今後の考え 4. いじめについて ①いじめの内容 ②今後の取り組み 5. 学校の登下校、服装について ①各学校での決めごと 6. 公園の遊具について ①点検及び記録方法 ②草刈り 7. 下水道工事前の住民説明会について ①内容	市長 教育長 関係者
3	11番	須賀 瑠美子	1. 市長の市政運営方針について ①前市長3期目に開始した事業の見直し、または修正の考え（カキ養殖、3Dプリンター事業） ②市単独補助金交付の検証と市の役割 ③中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の検証委員 2. 北九州市との観光などの連携協定について ①連携協定の考え方 ②北九州市からの誘客の考え方 ③自然歴史を活用した修学旅行を含む体験型観光 3. ごみ焼却施設クリーンプラザの運営方針について ①ごみの現状、ごみの減量対策 ②延命化方針への変更理由、延命化の課題、建て替えの時期、焼却熱活用	市長 関係者
4	15番	松井 康之	1. 中津の農業を守るために ①耕作放棄地の解消に向けて ②新規就農の促進 ③農業後継者の育成 ④小規模農地の集約化推進とは ⑤総合的な農業経営の指導 2. 安全安心なまちづくり ①情報伝達方法 ②自主防災組織、防災士、消防団との連携は	市長 関係者

平成27年第4回定例会 一般質問通告書

順位	議席	氏名	質問の要旨	答弁者
5	12番	大塚 正俊	1. 第2期行財政改革5カ年計画について ①財政運営の基本方針と財政計画との整合性 ②今後の地方交付税の見込み ③大型プロジェクト事業の見直し ④公共施設の老朽化対策 ⑤財政計画との整合を持たせた平成28年度予算編成 2. 保育園の待機児童解消対策 ①保育園の定員増に向けた取り組み ②待機児童解消緊急対策の実施 3. 城下町まるごとミュージアム構想 ①中心市街地活性化に向けた城下町の整備方針 ②公衆無線LANの整備、観光情報提供システムの構築による歩いて楽しいまちづくり	市長 関係者
6	17番	木ノ下 素信	1. 組織の見直しについて ①水循環、防災、市民協働、子ども（縦割り行政の弊害を一元化で対応） 2. 水の循環について ①貯留、かん養機能の維持向上（森林、水田） ②水の適正な利用（上水道、農業用水） ③災害（洪水、渇水） ④水環境（河川、排水、生物） 3. 市民協働について ①自治会、町内会、NPOの支援（法人化、活動支援） 4. 地域福祉計画について ①策定に向けてのスケジュール（第2次が平成28年度で終了、第3次の進め方） ②策定体制（アンケート、策定委員会、各作業部会、その他）	市長 関係者
7	13番	吉村 尚久	1. 今後の公共施設のあり方について ①公共施設等総合管理計画策定の進捗状況 ②今後の公共施設等の管理に関する基本的な考え方 ③近隣自治体との施設の相互利用 2. 農業振興の手立てとして ①特産品開発とブランド化の推進 ②グリーンドライブやグリーンサイクリングの推進とマップの作成 ③学校給食の完全米飯給食の研究、検討 3. 小学校におけるフッ化物洗口について ①フッ化物洗口、中津方式の取り組みと効果 ②フッ化物洗口、中津方式の検証 4. 平成28年度からの公立幼稚園（1園）での教育期間延長の試行について ①公立幼稚園2年保育の目的と平成28年度から試行の理由 ②平成28年度から予定されている幼児教育検討会議の設置の目的 ③平成28年度試行については中止を	市長 教育長 関係者

平成27年第4回定例会 一般質問通告書

順位	議席	氏名	質問の要旨	答弁者
8	10番	奥山 裕子	1. 暮らし満足度No. 1について ①誰もが安心して暮らせる大分県条例が、障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例(案)の素案を受けて、中津市としてどのように考えていくのか、市長としての考えは 2. 人権講演会について ①講師選定の基準 ②手話通訳、点字資料についての考え ③情報バリアフリーを含む今後の考え 3. 救急医療情報キットについて ①該当世帯数に対する配布状況 ②利用状況 ③今後の見直しを含めての民生委員、市民への周知 4. 伊方原発再稼働について ①大分県の避難計画を受けての市の考え ②線量計の設置状況 ③今後の考え	市長 関係者
9	19番	相良 卓紀	1. 移住、定住対策について ①市内の地域別人口の推移 ②小学校の児童数の推移 ③市営住宅の現状と整備計画 ④空き家バンク制度の充実 2. 市民との連携について ①市民との連携のために市民連携推進課(仮称)の設置 ②暮らし満足度アンケートの実施	市長 教育長 関係者
10	9番	小住 利子	1. 防災対策について ①中津市に想定されると思われる災害 ②市の防災士は何人で、その内女性防災士は何人か ③市の防災士連携協議会はいつ、どのように設置される予定か ④防災士連携協議会を設置する際その中に女性部会をつくる考え ⑤今後の女性防災士の資格取得の推進 ⑥自治区における要配慮者の把握と避難時の体制は明確か ⑦福祉避難所の活用状況 2. 子育て支援について ①子育て親子の集いの場の利用状況 ②ファミリー・サポート・センターの利用状況 ③まかせて会員のスキルアップはどのようにしているか ④訪問型子育て支援ホームスタートの利用状況 ⑤子育て情報サイトで子育てに役立つ情報提供をしては ⑥子育て支援事業を民間に委託する考えはないか 3. 市民病院の今後の診療体制について ①中津市民病院の病床数の増床 ②新設したい科はどのような科ですか ③どれくらいの増床を考えているか ④増床と共に必要な施設や設備はほかにあるか ⑤増設の認可が得られない場合はどう対応するか	市長 関係者

平成27年第4回定例会 一般質問通告書

順位	議席	氏名	質問の要旨	答弁者
11	24番	藤野 英司	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化振興とスポーツ振興についての新市長の考え方 2. <ol style="list-style-type: none"> ①文化芸術振興基本計画の策定 ②文化ゾーン（エリア）としての対応 ③文化振興課の設置 ④国民文化祭に対する今後の取り組み ⑤文化会館の運営上の課題 3. スポーツ振興 <ol style="list-style-type: none"> ①大貞総合運動公園の整備の今後の課題（野球場の外野スタンドと照明、野球場南側の広場周辺の植樹、野球場東側の整備、クライミングウォール） ②ラグビーワールドカップ、オリンピックキャンプ地誘致の取り組み 4. 通学路の整備 <ol style="list-style-type: none"> ①三保校区内（福島、山の中地区） 	市長 教育長 関係者
12	2番	恒賀 慎太郎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成28年度予算編成に向けて <ol style="list-style-type: none"> ①旧今津公民館への市職員派遣による成果と検証 ②自治会運営支援として宝くじ補助事業以外の助成事業創設 ③健全育成市民会議への補助金増額 ④老人クラブへの補助金増額 ⑤長寿命化計画中の橋りょう実施計画（小祝橋） ⑥公衆街路灯のLED化検討状況 ⑦水路、農道整備の入札時期を早められないか（11月の入札は、3カ月から5カ月での実施の事業が多いが） 	市長 教育長 関係者
13	20番	角 祥臣	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て環境について <ol style="list-style-type: none"> ①放課後児童クラブ事業の充実、上津小学校の放課後児童クラブの進捗状況 ②放課後中津子ども教室の推進 ③今後の取り組み 2. 上池永・大法寺・永添線（市道355号）の道路拡幅について <ol style="list-style-type: none"> ①一般自動車通行の増加 ②緊急自動車の通行利用状況 3. スポーツ観光について <ol style="list-style-type: none"> ①カヌー場の周辺の整備 ②今後のスポーツ施設整備や計画の取り組み 4. 幼稚園の図書購入費増額について <ol style="list-style-type: none"> ①利用度に応じた図書購入費の増額 5. 弔旗の購入利用について <ol style="list-style-type: none"> ①市長名の弔旗作成 ②市長名の弔電廃止 	市長 教育長 関係者
14	21番	高野 良信	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市政運営について <ol style="list-style-type: none"> ①新市長のビジョン ②二元代表制 2. 観光振興について <ol style="list-style-type: none"> ①DESTINATIONキャンペーンの検証 3. 医療体制について <ol style="list-style-type: none"> ①院内保育 4. 子育て支援について <ol style="list-style-type: none"> ①厚生労働大臣の視察 	市長 関係者

平成27年第4回定例会 一般質問通告書

順位	議席	氏名	質問の要旨	答弁者
15	18番	林 秀 明	1. 新しい中津市について ①職員のやってみたいこと大結集 ②ホームページのさらなる充実 2. 地域経済の活性化について ①地場企業の雇用と育成 ②企業誘致の方向性 ③高速道全線開通に伴う取り組み ④地域観光のデザイン ⑤水産業の環境整備と将来	市長 関係者
16	22番	村 本 幸 次	1. 中津の第1次産業に新たな道を拓くについて ①新規就農者居住施設整備 ②営農コンサルティングができる人材の確保、育成 ③農業版人材登録制度の確立 2. 中津の地域や産業が行う未来志向の新しい取り組みを支えるについて ①起業、創業希望者の掘り起こしと対象者への情報発信 ②自動車関連企業及び医療機器産業など立地の可能性の高い分野の分析 ③大新田地区を重点とした土地利用計画の見直しと下水道等の誘致環境の整備 ④空き地、空き倉庫等の情報及び生活情報を含めた中津市独自のパンフレットの作成 ⑤フェリーまたはRORO船など定期運航船の誘致活動 3. 重要業績評価指標（KPI）について ①創業、誘致等企業数が5年間で78社の試算 ②創業、誘致等による雇用者が5年間で342人増の試算 4. 第一共同調理場について ①民間委託になり半年経過後の状況	市長 教育長 関係者
17	8番	松 葉 民 雄	1. 水環境の保全について ①下水道整備率の現状と今後の計画 ②集落排水整備率 ③法定検査7条と11条の現状と対策 ④単独浄化槽の現状と対策 ⑤豊かな水環境創出事業 ⑥合併処理浄化槽への転換促進事業 2. 保育制度について ①待機児童の現状 ②中津市の保育制度の取り組み ③保育士の待遇改善 ④小規模保育制度の研修対策 3. マイナンバー制度について ①通知カードの現状と今後の対応 ②個人番号カード普及対策	市長 関係者

平成27年第4回定例会 一般質問通告書

順位	議席	氏名	質問の要旨	答弁者
18	5番	三上 英範	1. 奥塚市長の市政運営の基本的な考え方について ①安心づくりについて、災害のリスクの考え方 ②地方自治の意義とあり方（国政、とりわけ安保法制、TPP協定との関わりで） ③元気づくりに関連して、2015年世界農林業センサス速報値の感想及び中山間地の振興策、福祉政策 2. 中山間地の活性化、安心して住み続けられる中津市を目指して ①2015年センサスの評価 ②市内酪農の現状と経営安定の施策 ③林業関係者の協議会の取り組みの現状と原料確保に見合う木質バイオマスの検討を ④災害復旧事業の検証 ⑤中津市林地等崩壊対策緊急事業の拡充を ⑥今冬季の除雪対策は、農家のトラクター除雪に対するチェーンの支給を 3. 誘致企業の現状と環境保全について ①合併以降の郡部の誘致企業状況 ②協定違反した場合の市の対応	市長 関係者
19	3番	中村 詔治	1. 農業振興について ①人・農地プランの状況 ②担い手づくりの考え方（経営規模、営農類型と所得目標を明確に） ③草刈りの軽減対策 ④経営されていく農地と残された農地（条件不利農地）の対策を（経営していく農地と守っていく農地） ⑤耕作放棄地の対策	市長 関係者
20	7番	荒木 ひろ子	1. 働きやすく子育てしやすい環境づくり ①子どもの命を守る、健康を守る、中学生までの通院費助成 ②働きながら子育てできる支援体制 ③小児救急医療体制の存続、充実 2. 地域経済の振興 ①若者の安定した雇用の場づくり ②地域経済活性化の具体的な取り組み（中小業者、農林水産業） 3. 高齢者、障がい者の社会参加 ①必要とされる支援策の把握 ②具体的手段の構築 4. 中津市の公教育の向上に向けて ①子どもの発達を保障できる体制づくり 5. 非核平和都市宣言のまちづくり ①具体的な取り組みの状況と充実	市長 教育長 関係者

1月 教育委員会行事予定表

日・曜	時間	催し物	場 所	主催・担当課等	出席依頼者
1日（金）	：				
2日（土）	：				
3日（日）	：				
4日（月）	：				
5日（火）	：				
6日（水）	：				
7日（木）	：				
8日（金）	：	始業式	幼・小・中	学校教育課	
9日（土）	：				
10日（日）	：				
11日（月）	：				
12日（火）	：				
13日（水）	：				
14日（木）	：				
15日（金）	：				
16日（土）	：				
17日（日）	：				
18日（月）	：				
19日（火）	：				
20日（水）	：				
21日（木）	：				
22日（金）	13：30	定例教育委員会	教育委員会室	教育総務課	教育長他
23日（土）	：				
24日（日）	9：00	第48回三光地区内一周 駅伝競走大会	三光地区内	体育・給食課	
	10：00	第62回文化財防火デー	南部まちなみ交流館	文化財課	
25日（月）	：				
26日（火）	：				
27日（水）	：				
28日（木）	15：00	給食月間記念講演会	小幡記念図書館	体育・給食課	
29日（金）	：				
30日（土）	：				
31日（日）	10：00	第30回中津市スポーツ少年団 駅伝交流大会	大貞総合運動公園	体育・給食課	

12月 教育委員会報告

日・曜	時間	催し物	場所	備考
1日(火)	:	校長会議		岐阜県の取組み、緑中の取組み発表
2日(水)	:	議会開会		
3日(木)	:			
4日(金)	9:00	福澤諭吉記念 第54回全国高等学校弁論大会	中津文化会館	
5日(土)	:			
6日(日)	:			
7日(月)	:			
8日(火)	:	学力向上懇談会 山国中		地域から継続要望
9日(水)	:	議案質疑		
10日(木)	:			
11日(金)	:	各常任委員会(文教経済)		
12日(土)	:	山移ふれあい集会		地域の学校支援の例、今後?
13日(日)	:			
14日(月)	:	菊池省三先生城北中で授業		公表、城北中のホームページ掲載
15日(火)	18:30	代表質問 第8回中津教師塾 (講師:元プロ野球選手小野剛氏)	市庁舎大会議室	中津に甲子園出場チームを
17日(木)	:	一般質問		
18日(金)	:	一般質問		
20日(日)	:	音コンテスト		文化協会と今後のイベントのあり方 協議...来年のサブイボマスク上映 など
21日(月)	:	一般質問		
22日(火)	:	神戸大学教授と協議		歴史民俗資料館の課題
23日(水)	:			
24日(木)	:	幼、小、中2学期終業式	各幼稚園、 小、中学校	
	:	議会自由討議		幼稚園2年制の試行については慎重 に行うべき
25日(金)	:			
26日(土)	:			
27日(日)	10:00	定例教育委員会	本耶馬溪支所	
28日(月)	:	議会最終日		
	:	仕事納め		
29日(火)	:			
30日(水)	:			
31日(木)	:			